

# MARI KIMOTO



©Shimokoshi Haruki

## PIANO + WHO?

with Junichi Ishida

予定ゲスト (50音順)

### 『作曲家のラブレター』

朗読 ▶ 石田 純一

\*本公演企画は、 Kult・バーレン著 / 池内紀訳「音楽家の恋文」西村書店刊をもとに構成されています。

# 熊本マリが贈る極上の ピアノ・エンタテインメント

テレビ、ラジオ、雑誌の連載など各方面で大活躍の熊本マリと  
スペシャル・ゲストによる、軽妙なおしゃべりと名曲のコンサート。  
劇場のほか、サロンやレストランなどを素敵にエンタメ空間にシヨアアップします。



with Eiji Okuda

### 『スペインへの誘い』

トーク・ナレーション

▶ 奥田 瑛二



with Katsura, Yonedanji

### ピアノ音楽劇『二人のモーツァルト』

台本・出演・ピアノ

▶ 桂 米團治



with Leo Morimoto

### 『民謡のころと メロディー』

朗読 ▶ 森本 レオ



価格および詳しい内容は、お問い合わせください。

プロアルテムジケ **M** PRO ARTE  
USICAE

03(3943)6677 〒112-0013東京都文京区音羽1-20-14-5F  
www.proarte.co.jp info@proarte.co.jp

# 熊本マリが贈る極上の ピアノ・エンタテインメント



## with Junichi Ishida 『作曲家のラブレター』

ただ君一人のために弾いている (ショパン)  
天国も地獄も全てあなたの中 (リスト)  
どうにも君に会いたくて、君を胸に抱きしめたくて (シューマン)

### 曲 目 案

ショパン：ノクターン 作品9-2  
プレリュード 作品28-15「雨だれ」  
エチュード 作品10-12「革命」  
ワルツ 作品64-1「小犬のワルツ」

名曲誕生の裏側には、数々のドラマが隠されていました。そのドラマティックなメッセージや想いを情熱のピアニスト熊本マリの演奏と、臨場感あふれる石田純一の朗読で、手紙＝ラブレターが伝えられます。切なかったりロマンチックだったり、聴いているだけで、照れてしまいそうなラブレターを全てあなたに宛てられたものだと想像して、そして聴いて、ご堪能ください。

リスト： 愛の夢 第3番 変イ長調  
ペトルカのソネット 第104番  
シューマン：子どもの情景より「トロイメライ」  
献呈 (リスト編曲)  
ブラームス：ワルツ 第15番 変長調 作品39-15  
間奏曲 変長調 作品118-2 ほか

## with Leo Morimoto 『民謡のこころとメロディー』

日本で生まれ、スペインで育った熊本マリの2つの故郷の代表的な民謡や歌曲を森本レオの朗読と、熊本マリのピアノにのせてお贈りします。日本民謡は、「メロディーは知っているも歌詞は覚えていない」という方が多いかと思えます。そこで、森本レオが心にささやくように歌詞を朗読するとその情景が頭の中に浮かんでくるでしょう。そこに熊本マリのピアノによる抑揚のある音やリズムが

ら更に鮮明にその曲の世界が見え、詩と曲の相乗効果による“表現する力”を感じて頂けるでしょう。

### 曲 目 案

さくらさくら・日本古謡／そうらん節・北海道／佐渡おけさ・新潟／会津磐梯山・福島／松前追分・北海道／田植唄・青森／五木の子守唄・熊本／大漁節・千葉／音戸の舟唄・広島／木曾節・長野／谷茶前の浜・沖縄／八木節・群馬／鹿児島おはら節・鹿児島 など  
カタルーニャ民謡：鳥の歌／ロドリゴ：アランフェス協奏曲 第2楽章 など

## with Eiji Okuda 『スペインへの誘い』

灼熱の太陽のもとスペインで育ち、その情熱と明るさ、天性の音楽的センスで独自のスペイン音楽の世界を繰り広げている熊本マリと魅惑的な大人の色気漂う奥田瑛二のトークとナレーションによるコンサートです。  
【企画内容】 前半は、スペインの作曲家やスペインをモ

チーフとした作品を、熊本マリの演奏と奥田瑛二の進行でお聴きいただきます。

後半のメインは、熊本マリが世界初録音したビゼーの《カルメン組曲》でナレーションを奥田瑛二がドン・ホセとなり、照明や少し演出を加えて物語を進行していきます。

前半▶ モンポウ、ファリャ、グラナドスやスペインをモチーフとしたドビュッシーの作品等。後半▶ ビゼー《カルメン組曲》ほか

## with Katsura, Yonedanji ピアノ音楽劇 『二人のモーツァルト』

台詞をしゃべっているのが、米團治扮するモーツァルト。そこに登場し、ピアノを弾きはじめる熊本マリ。米團治が「お前は何者」と尋ねると、熊本は「モーツァルト」と答えます。「オレがモーツァルトだ」

と米團治が言えば、熊本いわく「本当のモーツァルトはしゃべらない…」二人のモーツァルトをめぐって、おかしくて不思議なストーリーがチャームなモーツァルトのメロディーにのって展開する新しい音楽劇をお楽しみください。

## with Mari Kumamoto 『トーキング・バラード』

クラシック音楽、タンゴ、ファッション、スペイン、ロンドン、ニューヨーク、日本… テレビ、ラジオ、雑誌記事連載など各方面で活躍中のピアニスト・熊本マリが、自らの音楽ライフを軽妙なおしゃべりと名曲でつづるのバラエティ・コンサート。劇場のほかサロンやレストランなどを素敵なショースペースに演出します。

### Profiles



### 熊本 マリ (ピアノ)

東京生まれ。10歳で家族と共にスペインへ移り住む。スペイン王立マドリッド音楽院、米国ジュリアード音楽院、英国王立音楽院にて研鑽を積み、英国ニューポート国際音楽コンクールで入賞、故ダイアナ妃から授与された。スペインの作曲家モンポウのピアノ曲全集の録音を世界で初めて完成、伝記「ひそやかな音楽」を翻訳した。2012年にはベネズエラ交響楽団と

共演するなど、その活躍は国内外にとどまらない。CDはキングレコード、日本コロムビアより多数リリース、デビュー 25周年に発売された「日本の心、日本のメロディー」は話題となった。テレビ・ラジオへの出演や執筆活動など、多才な活躍で幅広いファンを獲得している。現在、大阪芸術大学(演奏学科)教授。

オフィシャルサイト：www.marikumamoto.com  
Facebook：ピアニスト 熊本マリ

### 石田 純一 (俳優)

1954年1月14日東京都生まれ。早稲田大学商学部中退。1979年ドラマ『あめりか物語』(NHK)でデビュー。1988年『抱きしめたい』(フジテレビ)、『想い出にかわるまで』(TBS)などのトレンドドラマに出演し人気を博す。その後もバラエティ、ドラマ、映画、舞台、ニュースキャスターなど様々なジャンルで活躍。現在、朝日放送『おはよう朝日です』のコメンテーターを務めている。  
オフィシャルサイト：www.ishidajunichi.com

### 桂 米團治 (落語家)

1958年12月20日大阪市生まれ。関西学院大学文学部卒業。1978年8月父である桂米朝に入門。落語家でありながら、ピアノ演奏を趣味とし、ミュージカルやクラシック音楽に凝り、特にモーツァルト熱は重症。モーツァルトの生まれ変わりだと信じてる。オーケストラと競演やオペラと上方落語の合体「おべらくご」という新分野も確立した。幅広い趣味を謳歌しつつも、古典落語に純粋な心で向き合う。  
オフィシャルサイト：www.yonedanji.jp

### 森本 レオ (俳優)

名古屋市出身。日本大学芸術学部卒。1967年NHK名古屋制作のドラマ『高校生時代』(後の中学生日記)でデビュー。最近では『ショムニ(フジテレビ)』での冴えない井上洗一課長役や、穏やかでほのぼのとした語りを生かした、後のナレーターとしての活躍に火をつけるきっかけとなった『王様のレストラン』などへの出演で比較若い世代からも知られ、支持されるようになる。